

文教福祉委員会

令和3年9月14日（火）

午前10時00分～午前10時19分

議会大会議室

【出席委員】池田正弘委員長、永渕史孝副委員長、富永明美委員、久米勝也委員、
重田音彦委員、川崎直幸委員、嘉村弘和委員、山下明子委員

【欠席委員】なし

【委員外議員】なし

【執行部出席者】なし

【案 件】

・付託議案について（採決・まとめ）

○池田委員長

それでは、おはようございます。ただいまより文教福祉委員会を開催します。

初めに、採決の順序について説明いたします。

採決の順序につきましては、まず、決算議案の認定について採決を行います。

次に、第102号議案 専決処分についての採決を行います。

最後に、決算及び第102号議案以外の議案について採決を行いたいと思います。

以上の流れで行いますので、御承知いただきますようお願い申し上げます。

それではまず、決算議案の認定について採決を行います。

お伺いします。当委員会に付託された決算議案について反対意見はありますか。——そしたら、議案の番号をお願いします。

○山下明子委員

決算で一般会計と、それから、国保特別会計、後期高齢者特別会計ということで、71号、72号、74号で反対いたします。

○池田委員長

ただいま、決算議案の第71号、第72号、第74号の反対ということでございました。

それでは、反対意見について述べてください。

○山下明子委員

一般会計ですが、令和2年度はコロナの対策ということでいろいろと手も尽くされているとは思いますが、様々な条件で実施できなかった事業等もあって、結果的には黒字決算というふうになっているんですけども、そういう中で、実際にこのコロナで本当に困っている人たちにどこまで手が届いていたのかというところでは、これは本当に今になって分かってきているということではありますけれども、支援策が様々な所得要件であったり、独り親なら独り親というふうになっているために、そこから外れた人たちがなかなか救い

上げられずにきてしまっているということが、この年度またがって、今になっていろいろと声が寄せられているということもあって、そこら辺を振り返ってみますと、もっと全体として、そういうところを独自に幅を広げるとかいうことができたのではないかということを感じております。

そういう中で、例えば介護保険の利用料の負担を減らすということに関して言うと、社会福祉法人が展開している事業所の場合は、社会福祉法人の判断でサービス利用料を軽減させるという社会福祉法人利用者負担軽減対策費というのがありますが、これが前年よりも下がっていると。聞いてみれば、やはり社会福祉法人自体の負担する力というか、そのことができないので、自分たちとしてできなくなったので、それは採用しないというふうなことが起きているということがありました。それはひいては、その法人のサービスを利用している方たちにとっては、軽減策がなくなるということにもなっていきます。

このように、そこだけに任せていくような軽減策では長続きもしないし、そもそも社会福祉法人以外のサービスを受けている人たちにとっては全然及ばないということにもなりますので、こういうことは独自で、もしできないとすれば、国に対してこうした利用料の負担の制度をもっと拡充するように求めるとか、そういうことがやっぱり必要なのではないかというふうに思います。

それから、保育所の問題でいくと、保育士の確保が引き続きなかなか難しく、保育士の雇い上げの補助だとかいろいろやっておられますけれども、実際なかなか進まないという点で、ここに関しても一層の努力が必要ではないかといったようなことを感じております。

それから、これも毎年言っていることですが、学校給食の中学校、特に給食の選択制弁当方式はやはり問題であるというふうに感じています。全ての子どもたちに完全給食が行き届くようにすべきだという立場から反対です。

それから、国民健康保険に関しては、これもコロナ対策でいろいろ支援策が拡充されている部分はありますけれども、傷病手当の適用が4件ということで、どう考えてもやっぱり少ないなと。これはケースが、やっぱり制度として適用対象が狭いのではないかと、そういうことを感じています。

いまだに国保を払いたくても払えないという方たちが、滞納のために1か月1か月短期証を求めていかなくてはいけないという状態が、結構この厳しい生活の中でそういうことになっている方の声も届いておりますので、国保に関しても、もっと独自の負担軽減策ということをさらに頑張っていくべきではないかと。国保に関しても黒字決算なので、それはできないことではないというふうに思っております。

それから、後期高齢者医療費に関しては、これも毎年言っておりますけれども、年齢で区切って保険を分けることで、余計高齢者の方たちに負担を増すことになっていくのではないかと、この制度の在り方自体に問題を感じるということで、以上の点で反対いたします。

○池田委員長

それでは、意見が分かれている第71号、第72号、第74号議案については、それぞれ挙手採決を行います。次に、第73号、第79号議案については、一括して簡易採決を行いたいと思いますが、御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

御異議なしとのことですので、そのように順次採決します。

それでは、第71号、第72号、第74号議案について、それぞれ挙手により採決します。

なお、挙手されない場合は反対として取り扱います。

お諮りいたします。第71号議案について認定することに賛成の方は挙手をお願いします。

（賛成者挙手）

賛成多数と認めます。よって、第71号議案は認定すべきものと決定しました。

お諮りいたします。第72号議案について認定することに賛成の方は挙手をお願いします。

（賛成者挙手）

賛成多数と認めます。よって、第72号議案は認定すべきものと決定しました。

お諮りいたします。第74号議案について認定することに賛成の方は挙手をお願いします。

（賛成者挙手）

賛成多数と認めます。よって、第74号議案は認定すべきものと決定しました。

次に、第73号、第79号議案につきましては一括して採決します。

お諮りいたします。第73号、第79号議案について、それぞれ認定することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

異議なしと認めます。よって、以上の諸議案は認定すべきものと決定しました。

以上で当委員会に付託された決算議案の採決を終了します。

次に、第102号議案について採決を行います。

まず、お伺いします。当委員会に付託された第102号議案について反対意見はございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

反対意見はないようでございますので、第102号議案について簡易採決を行いたいと思いますが、御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

御異議なしとのことですので、簡易採決を行います。

お諮りいたします。当委員会に付託された第102号議案について承認することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

異議なしと認めます。よって、以上の議案は承認すべきものと決定しました。

以上で当委員会に付託された第102号議案の採決を終了します。

次に、決算及び第102号議案以外の議案について採決を行います。

まず、お伺いします。当委員会に付託された決算及び第102号議案以外の議案について反対意見はございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

反対意見はないようでございますので、一括して簡易採決を行いたいと思いますが、御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

御異議なしとのことですので、一括して簡易採決を行います。

お諮りいたします。当委員会に付託された第80号から第82号議案、第90号、第91号、第98号、第99号、第101号議案及び第104号議案について可決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

異議なしと認めます。よって、以上の諸議案は可決すべきものと決定しました。

以上で当委員会に付託された議案の採決を終了します。

次に、本会議での委員長報告についてお諮りいたします。

まず、決算議案審査に関する本会議での委員長報告についてですが、9月1日の委員会時点でお諮りしたところ、正副委員長に一任と聞いておりましたが、改めて何か御意見はないでしょうか。一応、決算議案について委員長報告をするようにしておりますので、一任されていいでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

次に、決算以外の議案審査に関する本会議の委員長報告についてはいかがでしょうか。正副委員長一任でよろしいでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

それでは、そのように取り計らいます。

最後に、委員会の会議録が公開されることに伴いまして、委員会における字句、数字その他の整理についてお諮りします。

本委員会の会議録につきましては、字句、数字その他の整理については委員長に委任されたいと思いますが、御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

御異議ないようでございますので、委員長に委任することに決定いたしました。

以上をもちまして文教福祉委員会を終了いたします。